

集計結果と回答（2019年11月実施分）

かぼすの丘 亀川

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	1	0	・クールダウンなどの静養室がある。 ・施設のスペースは程良い。 ⇒利用者がクールダウンや落ち着いた環境で使えるスペースを工夫し作るようにしています。
	②	職員の配置数は適切であるか	2	3	0	・常時4名の配置で適切である。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	1	0	⇒現在は適切であるが、利用者の状況の変化に対応できるように心がけています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	2	3	0	・日々のミーティング等での申し送りなどでできている。 ⇒目標の共有等、不十分な所もあるので全職員が参画出来るように努めています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	0	0	⇒毎年11月に保護者向けのアンケートを実施しています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	0	0	⇒ホームページに掲載しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	1	0	⇒今後も職員全員が評価を真摯に受け止め、改善していきます。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	0	0	⇒ミーティング等を通して自己研鑽の共有を図ったり、様々な研修に参加出来る体制を構築していきます。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	1	0	⇒児童発達管理責任者が毎月行うようにしています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	1	0	⇒アセスメントツールを活かしています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	0	0	⇒利用者の支援につながるような活動の立案、実施が計画的に遂行出来るように、毎月、計画会議をし、目的を持ち検討・決定しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	0	0	⇒計画された活動が、日々の状況の変化に対応できるような工夫に努めています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	1	0	⇒状況の変化に対応し、日々連動出来るように支援していきます。また、それに伴うスタッフ配置にも気を付けていきます。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	1	0	⇒常に組み合わせ等を考慮した計画を作成するように取り組んでいます。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	0	0	・なるべく気づきの点は共有して行っている。 ⇒日々のミーティングで打ち合わせや申し送りを行っています。送迎や活動担当などの業務確認も行えています。	

	⑯	支援終了後は、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	2	0	⇒支援終了後の打ち合わせ等出来ないこともあるが、日誌・ケースの記入の共有をその日のうちに出来るような体制を取っています。その他口頭での申し送りなども行っています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	0	⇒日誌・ケースの記入を活用し、ミーティング等で共有し、検証改善に繋げています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	1	0	⇒都度応じて参画しています。計画作成時期やモニタリング時期の計画表も作成されており、それに合わせて実施されています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	4	1	0	⇒ガイドラインに沿って弊社も支援を行うようにしています。職員の理解を深めるため内容の読み込みに努めています。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	0	0	⇒児童発達管理責任者が出席しています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	0	0	⇒基本的にはできているが、これからも連携が密に取れるように努めていきます。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	1	0	⇒対象者なし
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	0	1	⇒利用までの会議等で情報共有を行っています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	3	0	⇒卒業に際し、次への移行に相談支援専門員を介しての支援会議等に参加をして情報共有に努めています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	3	0	⇒案内があった場合に参加しています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	4	0	⇒交流は少ないが、今後実施に向けて情報交換を続けています。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	2	3	0	⇒参加出来るように努めています。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	1	0	⇒送迎時などを活用して話を機会を設けています。また、日々連絡帳の記載も行っています。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	4	0	⇒日々のやりとりやモニタリング会議等がその機会を担っている。
保護者	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	1	0	・利用開始時に説明を行っている。 ⇒施設長より説明しています。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	0	0	⇒必要、適切な助言になっているかは分からないが、その都度対応している。

への説明責任等	⑳	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	4	0	・合同行事等で保護者参加の機会を設けてはいるが充分ではない。 ⇒今後、茶話会等の場の提供を通して保護者間の連携の支援も行って行ければと考えております。
	㉑	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	1	0	⇒常務や施設長が主に対応し、その報告等を受け適切に対応できるようにしています。
	㉒	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	0	⇒かばす便りの発行・Facebook・ホームページを活用しています。
	㉓	個人情報に十分注意しているか	5	0	0	・関係者以外へ漏れないように注意している。 ・徹底し十分対応している。
	㉔	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	0	⇒書面で伝える、関係性の深い人を介する等々、情報伝達の正確さの確保に努めています。
	㉕	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	3	0	⇒地域の中へこちらから入って行く活動は少しずつ行えているが、地域の方がかばすの丘の行事・活動などに招待・参加という形はあまり実施できていないので検討してきます。
非常時等の対応	㉖	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	1	0	・避難訓練を実施している（毎月6月と11月） ⇒策定している各マニュアルの周知徹底に努めていきます。
	㉗	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	1	0	⇒災害別に想定をした訓練を行っています。実際に避難場所に行ってみたり、研修参加等もしています。
	㉘	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	1	0	⇒外部研修に参加しています。
	㉙	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	1	0	・対策を考えている。 ・申し送りや説明等、出来ている。
	㉚	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	0	0	⇒保護者から定期的に情報を頂きながら対応しています。
	㉛	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	1	0	・事例集とまではいかない。報告書などはあるが、さらに周知徹底が必要である。

《 要望 》

《 回答 》